

会 議 録

1 会議名	平成25年度第5回宇都宮市上河内自治会議
2 開催日時	平成25年10月11日（金） 午後3時00分～午後5時00分
3 開催場所	宇都宮市上河内地域自治センター 大会議室
4 出席者	<p>【委員】</p> <p>太田正， 神山光男， 東原勸， 山口和子， 川津昭夫， 高橋榮一， 藤枝登茂子， 笹沼志津子， 長谷川良子， 江連脩身， 手塚豊， 手塚正義， 小嶋康夫， 長嶋秀子， 君島恭子， 高橋みどり， 福嶋修</p> <p>【事務局】</p> <p>地域自治制度担当副参事， 上河内地域自治センター所長， 地域経営課長， 地域づくり課長， 保健福祉課長， 産業土木課長， 地域経営課職員，</p>
5 公開・非公開	公開
6 傍聴者数	<p>【傍聴者】 なし</p> <p>【記者】 なし</p>
7 会議経過	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>（1）「地域のまちづくりに関する施策の提案」について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>

1 開 会	
第5回宇都宮市上河内自治会議開会	
3人の委員から欠席の連絡を受けており，出席者数は17名で，委員の過半数に達しているため，この会議は成立することを事務局報告。	
2 あいさつ	
太田会長あいさつ	
3 議 事 （1）「地域のまちづくりに関する施策の提案」について	
会 長	グループ協議の進め方等について，事務局に説明を求める。
事務局	地域のまちづくりに関する施策の基本的な考え方，自治会議でこれまで3回の提案を行っていたこと，PDCAサイクルを繰り返し行うことが重要なことから，今年度は，第2回で提案した「産業・経済・交通編」の実行プランのうち「主に地域団体等が3年後まで取り組む」としている9件の取組みについて，グループで取組みの評価，今後の取組み方

	<p>針を協議していく。</p> <p>グループ協議の進め方について説明させていただく。</p> <p>はじめに、グループリーダー、記録係、発表者を決めてから協議を行うこととし、協議の実施手順は、「評価シート」に沿って行う。</p> <p>まず、「評価シート」の「進捗状況」欄に、現在の取組み状況をグループで協議し、1箇所には○を付ける。</p> <p>次に、「効果（成果）」欄に、取組みによる効果がどの程度得られているかグループで協議し、1箇所には○を付ける。</p> <p>「評価の理由・課題」の欄については、進捗状況や効果の理由、今後の課題などを各委員が意見を付箋に記入し「評価シート（大判）」に貼り付ける。これを基にグループで意見をまとめ、記録係が「評価シート（提出用）」記入する。「評価」が終わったら「今後の取組方針」について協議する。</p> <p>まず、「対処」欄に、評価した取組みを継続するのか、見直しするのか、中止するのかをグループで協議をし、1箇所には○を付ける。</p> <p>次に、「見直し・改善点の概要」欄の「取組み（何を）」については、対処欄で「B見直し」に○を付けた場合のみ記入する。</p> <p>「手法・手順（どのように）及びスケジュール（いつまでに）」は、「対処」の欄が「A継続」で「進捗状況」の欄が「D遅れ気味」か「E未着手」の場合、又は「対処」が「B見直し」の場合は、「取組み」を実現するための「手法、手順、スケジュール」を付箋に記入し貼りつける。これを基にグループで意見をまとめ、記録係が「評価シート（提出用）」に記入する。</p> <p>「想定される実施団体」欄は、取組みを実施することが可能と思われる団体を記入し終了となる。終了後は、グループごとに発表していただき、全体で意見交換をして自治会議としてまとめていきたい。今回は、初めて評価・検証・見直し作業を行うので、委員の共通理解を図るため、1つの取組みについて、最後の意見交換まで行っていきたい。</p> <p>以上で説明を終了する。</p>
会 長	ただいまの説明について、質問はないか。
全委員	質問等なし。
会 長	それでは「地域農産物のブランド戦略・推進体制の確立」について、グループ協議をお願いします。
グループ協議を実施	
会 長	それでは、グループ協議の結果を発表していただく。 まず、Aグループから発表をお願いします。

<p>委員</p>	<p>Aグループの協議結果を発表させていただく。</p> <p>まず、「進捗状況」は、未着手という意見が多かったため未着手とした。したがって、「効果」は、4のほとんど見られないとした。</p> <p>評価の理由・課題については、個人的に取り組んでいる方もいるが地域全体では見えてこない。それから、推進体制が具体化されていない。5W1Hが明確化されていないのも大きな原因だと思う。また、上河内では多くの農産物が栽培されているが、特産物がないのが現状ではないか。</p> <p>今後の取組方針は、「対処」については、継続していくこととした。ブランド戦略・推進体制の確立がまず必要だろう。「手法・手順」については、個人的にやっている方の調査・アンケート・現状把握等をしてJAからの指導等を得て地域へそれを広める。最終的に特定の農産物をブランド商品に決めて、加工技術・加工場所・販売店の確保などの具体化を検討する。想定される実施団体は、JA・いちご部会・農業者団体の各団体とした。</p> <p>以上が協議結果である。</p>
<p>委員</p>	<p>Bグループの協議結果を発表させていただく。</p> <p>まず、「進捗状況」は、Aグループと同じで未着手とした。「効果」もほとんど見られない。全然取り組んでいない状況である。「評価の理由」としては、ゆずといちごを使った特産品の開発、それらのブランド化となっているが、ゆずに関して現在上河内においては畑、農業で作られていない。ほとんど庭先で作られている物が上河内であり、販売する為の品質には至っていない。いちごに関しては、非常に難しくてJAに全量出荷の為、ブランド化を打ち出しにくい。上河内でも、宇都宮でも「栃木のいちご」になっている。6次産業化については、加工する施設がない。設備投資に多額の費用がかかってしまうということで、評価の理由としてほとんど効果が見られないとした。</p> <p>「対処」としては、取組みの見直しが絶対に必要。「取組み（何を）」については、時間がなく結論まで至らなかった。「手法・手順」については、ゆずについては、栽培の統一化を図り品質を上げていくと自ずと企業への出荷も出来るし加工もできていく。ゆずは、6次産業として加工まで必要であるが、その際、多額の設備投資が必要となるため、加工業者と連携して、ジャム・ゆずポン酢等を作り改善を図っていく。想定される実施団体は、現状では実施団体が見当たらないということで空白にしてある。</p> <p>以上が協議結果である。</p>
<p>委員</p>	<p>Cグループの協議結果を発表させていただく。</p> <p>まず、「進捗状況」は、Eの未着手とした。</p>

	<p>「効果」は、4番のほとんど効果が見られない。</p> <p>「評価の理由・課題」は、上河内地区の農地の広さが問題である。農産物の加工等、個人的には行っているが団体としては行っていない。特産物のゆずみそ製品等があるが、知られていない。販路も確立されていない。ブランド化する農家が少ない。</p> <p>次に、「今後の取組方針」の「対処」欄は、Aの取組みの継続とした。</p> <p>「手法・手順」については、JAうつのみやを中心にやる気のある住民・企業に集まってもらって組織を作ったらいいのではないかと考えた。商工会の協力を得て販路を開拓する。農業と商工会の連携を図っていく。</p> <p>「想定される実施団体」は、JAうつのみや・商工会が中心になってやっていく。</p> <p>以上が協議結果である。</p>
<p>会 長</p>	<p>3つのグループから検討の報告をいただいたので、私から若干コメントをさせていただく。今、検討いただいた各グループの委員の方は2年前の提案そのものには関わっていらっしゃらないということなので、前の委員の方々が作成された提案内容を第三者の立場で検証・評価作業を行っていただいたことになる。</p> <p>具体的な検討の結果について、「評価」のところは3グループとも同じであった。理由と評価結果から次の取組みにどう繋げていくかというところは、三者三様の結果としての報告されたのではないかと思う。一番厳しい展開を示されたのは、「Bグループ」ということで、かなり現実を直視していただき、6次産業化に向けた取組みは難しいのではないかとの現実に即した審議をしていただいたのではないかと思う。その中で6次産業化そのものではないが、それに準ずる視点から見直してゆずに対象を絞り込んだうえで、加工業者との連携をあげていただいた。自分達は生産者の立場を維持しつつ加工販売業者と連携しながら進めていくという提案だと思う。いきなり、6次産業化というのが難しければ、他業者との連携を通じて実質的に同じような効果を出していくということができないのではないか。可能性の高いところから随時、具体化を図ることが必要であり、そういう点で見直しのご指摘をいただいたものと理解をさせていただいた。「Aグループ」からは、特に評価の理由と課題のところ、特産品を絞る必要があり、最も効果的で最も可能性がある農産物に決めていく必要があるということであった。このような方向性はまさにその通りだと思う。何年までに何をやるのかということで、実態調査を3年までに、加工販売などの具体化を検討するには5年までに、ある程度期限を区切ってスケジュールを示していただいた。</p> <p>「Cグループ」からは、特に上河内はゆずの産地であるが、あまり知</p>

	<p>られていないということで、商品開発を行いながら販路を拡大し広めていくことをご指摘いただいた。</p> <p>後は、身近なところ出来るところからということで、提案いただいたのではないと思うが、何が出来るのか、どうすべきかについては、方向性を示したうえで、この指止まれ式にまとめ、協議のできる組織を立ち上げていく事が必要になっていくのではないと思う。</p> <p>全体を通してであるが、どのように具体化したらいいのか、その為には何が必要なかが問われるが、1つ1つの具体的な取組み内容がイメージできなかったり、具体化していく上での手がかりがなかったりということが出てくるのではないと思う。そういう点では、農・商・工の連携をネットワークとして結んでいくことや、同時に、1つ1つの取組みを横に繋いで具体的な事業化を図ろうとする時に、そうしたノウハウや経験を持っている第三者の方々のお借りしたり、あるいは知恵をお借りすることも必要である。また、灯台下暗しで色々な可能性があってもかかわらず可能性を花開かせるためのきっかけや見通しなどがなかなか持ちにくいという現実もあるので、いろいろな方面で意見交換を行い、繋がりを求めていくことも必要であると思う。出来る所から具体的に行っていけばいいのではないか。地域の人たちでどうしていくのかということ、1つ1つ、あいまいな形ではなくて具体的な形で示していけるような見直しを進めていただければと思う。</p> <p>本日、3グループの検討結果は大体、評価・検証のイメージに沿った形でご報告いただいたと思う。</p> <p>まちづくり協議会の方にもこのような取組みが実行できるのか、どの団体で実施可能なのかを検討していただいていると聞き及んでおり、出来ることから進めていただければと思っている。</p> <p>今日はここまでとさせていただきます。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>
4 その他	
会長	次に、次第4の「その他」について、意見を求める。 なければ、本日の議事は終了させていただく。
事務局	次回の平成25年度第6回宇都宮市上河内自治会議は、11月11日午後2時からを予定している。
会長	他になければ本日会議は終了させていただく。
全委員	意見・質問なし
5 閉会	
会長	以上で、平成25年度第5回宇都宮市上河内自治会議を終了する。